

新潟生活

目次 **【教えて先輩!】**主体的に動けば、新潟でも国際貢献はできる
モノづくりの仕事を極めたい
【特集】新潟でビジネスを始めてみませんか
起業による夢の実現

御希望の方に無料で郵送しています。

発行/新潟県民生活課 〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 TEL025-280-5112(直通)

申込 無料 FREE

起業による夢の実現

起業にチャレンジ

雇われるという働き方を選ばず、自分の強みやスキルを生かして起業するスタイルもあります。好きなことや得意分野を職業にすると仕事に対するモチベーションも高まります。新潟県起業チャレンジ奨励事業を活用して起業された方々を紹介します。

起業 1 販促・企画・PR会社

「YU-SAY PLAN(ユウセイプラン)」 宮川雄一郎さん

これまでCM製作、広告、販促企画等の仕事に携わってきましたが、いつかは独立したいと思いつけてきました。自分のライフプランを一段ずつ登ってきて、そろそろ起業したいと考えたときに県の奨励事業の話を知り活用させていただきました。起業すると大きな組織にいるより迅速に対応できたり、小回りの効く仕事ができたりするというメリットがあります。また、クライアント側に立った位置でアドバイスできたりすることも多い。何をやりたいのか明確な方は起業してみてもいいと

思います。そこでの経験は自分の能力になりますし、経営感覚も身につきます。新潟で起業する場合のポイントは、一つでもいいので確実な実績をつくること。そうすると信頼されますし、実力があれば仕事は広がっていきます。また起業には人脈づくりも重要。いろいろな業種の人と話をする機会があればどんどん参加して話を聞いてみてください。見識が広がるだけでなく、良いネットワークを築くことができます。



起業 2 ネイルサロン専門店

「selfish moggie(セルフイッシュマギー)」 茂木美由紀さん

新潟初のセルフ式ネイルサロン専門店を昨年8月にオープンさせました。6年前にUターンしてきましたが、自分のキャリアアップを常に考えていました。アルバイト時代が長かったので、まずは正社員になることを目標にし、その後、起業するため新潟商工会議所が主催する「創業塾」に参加しました。仕事は与えられるものではなく自分で創るものだと思っています。どうしたらお客さんに喜んでもらえるか、どうしたら双方が得をする関係でいられるのかを考え、アイデアを出してはそれを

ブラッシュアップさせてきました。自分にはできないと簡単にあきらめるのではなく、できる理由、できる方法を考えてほしいですね。新規需要を探り、私にしかできないことを提供することで選ばれるお店になっていくと思います。好きなことを仕事にするとモチベーションは上がっていきますし、次々にやりたいことが浮かびます。起業してからは夢中になれる日々を送り、毎日が充実しています。



新潟県起業チャレンジ奨励事業

- 県内で新たに創業を予定している者に対し、起業に際して必要な経費を対象に助成金を支給。(平成22年度開始、平成23年度も継続)
- 1人での起業も支援
 - 支援額100万円までは助成率100%の支援が可能

起業支援機関・相談窓口

- 財団法人いがた産業創造機構
新規性の高い技術や商品、サービスをもとに、県内で創業しようとする個人又はグループ等に対して創業に必要な経費を助成
- 特定非営利法人都岐沙羅パートナーズセンター
県北地域におけるコミュニティビジネスへの育成・支援等、地域の元気につながる活動を支援
- 新潟コミュニティバンク
新潟県内の地域コミュニティをよりよいものにするコミュニティビジネスを行う団体、個人等を支援
- 新潟市・ほんぽーと中央図書館「起業・経営相談会」
起業したいが手続きがわからない等、起業や経営、ビジネスプランなどについて中小企業診断士が相談に応じる

新潟くらしのポータルサイト **nii GET** もご活用ください
http://www.niiget.jp

- **新潟トピックス**(毎日更新中 土日祝除く)
新潟県内の社会・経済情報を見ることができます
- **合同企業説明会スケジュール**
県内外で開催される合同企業説明会の日程が確認できます
- **教えて先輩!**
新潟にU・ターンされた方々の体験を紹介します
- **新潟で夢にチャレンジ**
無限の可能性がある新潟の魅力をさまざまな角度から紹介します

お申し込み・お問い合わせ
新潟県民生活課
〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1
TEL025-280-5112(直通)

教えて先輩! vol.21

主体的に動けば、新潟でも国際貢献はできる

Uターンしたきっかけ

学生時代に、NGOでのボランティアやインターンをやっていた、卒業後もずっと関わり続けたいと考えていました。だから、神奈川に残るか新潟に帰るか本気で悩みました。結局、家族に何かあったときのために近くにいたいと考えて、新潟に戻る決意をしました。大学での一人暮らしを通して家族のありがたさに気づいたことが大きいですね。

新潟での国際協力

現在は新潟国際ボランティアセンターの理事として、組織運営に関わっています。特に若手のメンバーと集まってイベントの企画を行っています。今後はフェアトレードや新潟だからこそできる活動にも力を入れていこうと考えています。関東に比べれば、国際協力・国際交流に関する情報は少ないかもしれませんが、自分たちが主体的に動くことで、新潟にい

ても国際貢献は十分に可能です。

メッセージ

新潟に戻るかどうかを悩んでいるのであれば「新潟に戻ってきて」と伝えたいです。慣れ親しんだ土地で働けることはとてもありがたいことです。地域の安全に少しでも貢献できていると思うとやりがいも大きいですね。地元に戻ってくる気持ちが少しでもあればぜひ帰って来て、地元で貢献する暮らしを送ってほしいと思います。



羽田達矢さん(23歳)
公務員(新潟市消防隊員)



五泉市出身。高校卒業後に神奈川県内の大学で国際学を専攻。NGOでのボランティアやインターンに積極的に参加、東南アジアを中心に住居建築の手伝いや、事務局での事業コーディネートを経験。大学を卒業後、新潟にUターン。地域の安全を守る消防隊員としての日々を過ごす傍ら、新潟県内のNPOの理事に就任、新潟らしい国際交流を模索している。

教えて先輩! vol.22

モノづくりの仕事を極めたい

Uターンしたきっかけ

両親がモノづくりをしていたこともあり、モノづくりに関わる仕事に興味がありましたが、東京で社会人生活を送る自分がイメージできませんでした。ドライブとスキーが趣味だったので、趣味が生かせる東京から比較的近い新潟や長野に就職したいと思うようになり、企業研究をしたり企業説明会に参加するようになり、内定に至りました。

就職活動の際に悩んだこと

職種と勤務地について非常に悩みましたが、当社の場合、新入社員研修期間が長く、ここで各部署の仕事をじっくり学ぶことができます。研修後の配属は新入社員と各課の希望をマッチングさせ、お互いの希望が合えば優先的に配属されるシステムをとっているため、おかげでやりたい仕事に就けて情熱を傾けながら働いています。それと社風が自分に合っているかどうかも重要です。不安ばかり抱えずに自分の足で各企業を廻ってみると迷いがなくなることもあると思います。

メッセージ

女性の少ない部署にあえて飛び込み、初めは仕事への抵抗感が少しありました。しかし先輩方に助けられ、今はこの仕事を極めたいと思っています。また、新潟での暮らしは仕事とプライベートが充実しています。私と同じような趣味を持つ方やモノづくりのプロフェッショナルになりたいという方には新潟をオススメしたいですね。



久米里美さん(25歳)
八海クリエイツ株式会社グループ株式会社エイテックス
金型製造課 フライス担当



東京都出身。都内の大学を卒業後、文系出身でも技術系の仕事に就けることや会社見学で生き生きと働く社員を見て八海クリエイツ株式会社への入社を決意。金型製造課で目標とする先輩の背中を追いながら、日々技術に磨きをかける。オフの日は、スキー、釣り、ラフティング、パラグライダー等に出かけて、新潟の大自然を満喫。

新潟で始めてみませんか

ビジネスを

地域における人材、ノウハウ、施設、資金などを活用して地域コミュニティの活性化に寄与するビジネスが広がりを見せています。これらは地域で暮らす人のアイデアと熱意によって生まれるものともいえます。地域を豊かに、そして元気にするビジネスを創り出していきますか。

空き店舗を活用したコミュニティビジネス

コミュニティ1 カフェ&レストラン・ManoMano(マノマノ) 村上市



きます。最近では岩船産の酒米を使った生パスタを開発し、村上風イタリアンを楽しんでもらっています。

働くことは私のライフテーマです。自分たちが楽しめないという接客やいい雰囲気は作れないと思います。もちろん仕事なのだから楽しいことばかりではありませんが、仕事は自己表現する舞台であり、自己実現できる場です。仕事を洋服に例えるなら、起業は窮屈な服を着るのではなく、オーダーメイドで好きなファッションを着ることができる場所といえますね。

>>>自己実現の場

マノマノは単に飲食を提供するだけでなく、地域の宝物を発掘し、地域と人をつなぐ役割を果たしたいと空き店舗を利用してオープンさせたお店です。カフェレストランのほか、ギャラリー、ファーマーズマーケット、クラフトカフェなどもやっています。観光地だけをクローズアップするのではなく、普通に村上にある魅力を引き出したいですね。行ってみたいと思わせる光るものがあるとお店の色が出て活気づ

>>>まずできることから

若い人の感覚も求められています。スマートでなくていいから、がむしゃらにやってほしいですね。一生懸命な姿は周囲に伝わり、理解してもらえます。とくに新潟は頑張っている人への手助けが大きい地域だ

竹内きょう子 さん
4年前に村上へUターン。東京でコミュニティビジネスを手掛けた経験を生かし、平成21年9月、村上市中央商店街振興組合がオープンしたカフェ&レストランマノマノの店長として、村上流の心ある仕事に尽力している。

と思います。いいと思ったらまず動いてみてください。やる前にあきらめてしまう人も多いけれど、やらない理由は言い訳にしかなりません。3ヶ月でもいいから実績を作って、多くの人に見てもらい、感じてもらう、味わってもらうことが大切です。大きな仕掛けを考えると動けないよりも、まずできることから実際に動いてみるというですよ。



コミュニティ2 まちの駅糸魚川ぷらっと 糸魚川市



やりがいを感じています。自主自立していくためにオリジナルブランド第1弾として「ひすいウォーター」を開発しました。糸魚川ジオパークの一つ、小滝川ヒスイ峡のわき水を使った商品。こういった商品からも糸魚川をPRしていきたいですね。

>>>ひと・テーマ・まちをつなぐ

「空き店舗で何かしたい」と糸魚川本町通り商店街振興組合の方たちと話し合いを重ね、これまでにありそうでなかった機能を持たせた、ひと・テーマ・まちをつなぐ交流拠点「まちの駅ぷらっと」をオープンさせました。駅長としてインフォメーション対応、商品販売、企画展実施のほか、外国人観光客へのツアー通訳などを行っています。地域の方たち、そして糸魚川を訪れた方たちと触れ合い、糸魚川を元気にすることに

>>>ご当地グルメも後押し

田舎だから何もないと思われるかもしれませんが、むしろ有りすぎると思います。海や山が近く、世界ジオパークに認定された美しい景観は四季を通じて楽しむことができます。食材は加工しなくてもおいしいものばかりですが、若い人たちの感性で糸魚川の食材を生かした創作料理を開発したらおもしろいと思います。最近では「糸魚川ブラック焼きそば」や「糸魚川南蛮エビ料理」のプロジェクトなどで当地グルメ

五十嵐哲夫 さん
8年間のアメリカ暮らしの後、糸魚川へUターン。平成21年7月にオープンした「まちの駅ぷらっと」の駅長。糸魚川の宣伝部長という意識で地域の情報を発信中。

でも非常に盛り上がっています。新潟県は広いので、皆さんが活躍できる場が必ずあると思います。まずは情報収集をしてみてください。自分の人生ですので、楽しくするのも全て自分次第です。失敗を恐れず壁にぶち当たってみてください。肝心なのは失敗から何を学ぶかです。



農を多様に捉えたビジネス(直売所、農家レストラン)

農 直売所「採彩」&農家レストラン「ベジタブルランチ」 新潟市



>>>食を考える場所でありたい

直売所は基本的にその日に採れたものを販売しているので、鮮度がいいのは当たり前です。スーパーでも野菜は手に入りますが、あえて生産者と近い距離にある直売所へ足を運んでもらい、自分が口にすると

のがどんなところで作られているのか知ってもらいたいですね。食を知る、食を考える場所であってほしいと思っています。より身近に食を感じてもらうため、収穫体験、作り方教室なども開催。ここでしか買えないものもたくさんあります。野菜を買うだけじゃないプラスアルファが直売所にはあります。いかに野菜を魅力的なものだと思ってもらえるかを考え試行錯誤の日々。メディアへの情報発信のほ



か、野菜ソムリエの資格を取得し、野菜スイーツも研究中です。

>>>自分の基準を優先

ゴールのない仕事なので根気も必要。毎年同じように栽培しても上手くいかないこともあります。そこで、これまでとは違った農作物の提供方法を考えて実践しています。旬の野菜のおいしさを知ってもらいたいこと、もったいないをなくしたいことから、ベジタブルランチという昼食レストランを月2回開催。これからの農家は生産するだけでなく、販売することや付加価値を加えたものを提供していくスタイルが

坂井涼子 さん
高校卒業後、芸能界入りしCM、ドラマなどで活躍。その後東京の農大へ進学するとともに家業を継ぐため4年前にUターン。農を多様な視点で捉え、新しい風を吹き込んでいる。

あってもいいと思います。ベジタブルランチは私を含め女性就農者3人で結成した「農業女子」で始めた企画です。思いを形にできる仕事は楽しいですね。トレンドやニーズを察知するのはもちろんですが、まずは自分の基準を信じてみる、自分自身が興味をもっていることにトライする。これからも多くの経験を積んで農業の可能性を広げていきたいです。

新潟県空き店舗活用地域活性化事業

商店街の空き店舗を活用して「地域活性化活動」と「経営活動」を行い、地域への定着と自立経営を支援するもの。現在10団体に事業委託し、平成21～平成22年度に12店舗がオープン。

●参考URL
<http://www.pref.niigata.lg.jp/shogyoshinko/1288558897672.html>

新潟県における農産物の直売所数と販売額の推移

消費者の地元食材への関心の高まりから、県内でも多くの農産物直売所が運営され売上げを伸ばしています。並ぶ商品も地場野菜から漬物、ジャムなどの加工品まで様々です。



出典：平成18-20-22年度 新潟県の農業水産業(新潟県農林水産部)